

平成 28 年度『いわき建設事務所 設計時施工技術検討会』実施結果について

平成 28 年 12 月 6 日

いわき建設事務所

1 概 要

いわき石川線は災害時の緊急輸送路（第 2 次指定確保路線）に指定され、重要港湾小名浜港から中通り地方を結ぶ物流道路として、広域的な連携、交流を促進する大変重要な路線である。

才鉢工区は、落石の危険箇所が多数点在し法面崩壊等の災害時には長期間通行止めとなり、物流や生活に甚大な損害を受ける状況となっており、安全な車両交通の支障となっていることから、危険箇所を回避し安全で円滑な通行を確保するため延長約 3 k m のバイパスを計画している。

このうち、実施中である（仮）才鉢 3 号橋、（仮）才鉢 5 号橋の橋梁詳細設計に含まれる下部工施工計画案が、現場条件に即した設計や工法となっているか検討するため、現場経験豊富なアドバイザーを招き設計時施工技術検討会を実施した。

2 設計委託の内容

- 橋梁詳細設計（仮）才鉢 3 号橋 （受注業者：日本工営株式会社）
 - ・橋梁上部工 L=129.6m、下部工 N=3 基（A1,P1,A2）、仮設工、仮橋工等
- 橋梁詳細設計（仮）才鉢 5 号橋 （受注業者：セントラルコンサルタント株式会社）
 - ・橋梁上部工 L= 156.9m、下部工 N=3 基（A1,P1,A2）、仮設工等

3 検討会の内容

- 橋梁下部工施工計画案について

【主な検討内容】

- ① 現地盤（堅固な岩盤）へ対応した施工方法が選定されているか。
- ② 全体の施工手順及び河川や現道の切回し工、仮設土留工、仮橋工などの仮設計画は、現場条件や実作業に即した内容となっているか。



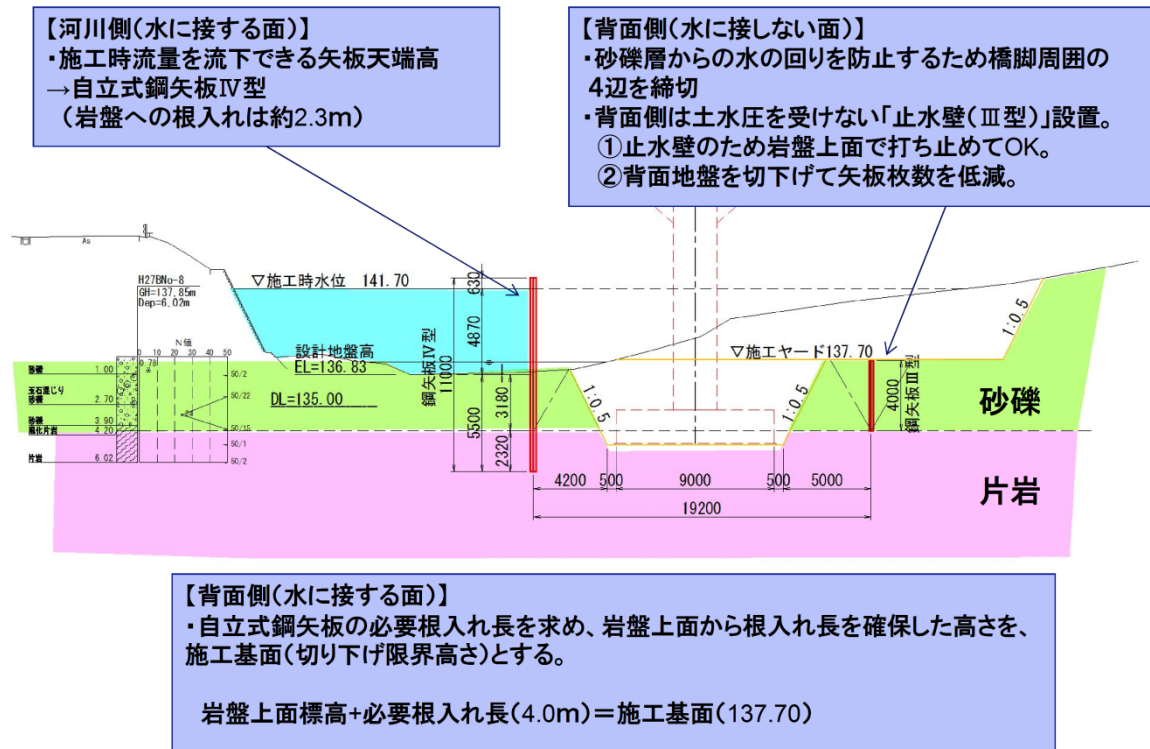
検討会状況

4 主な検討結果

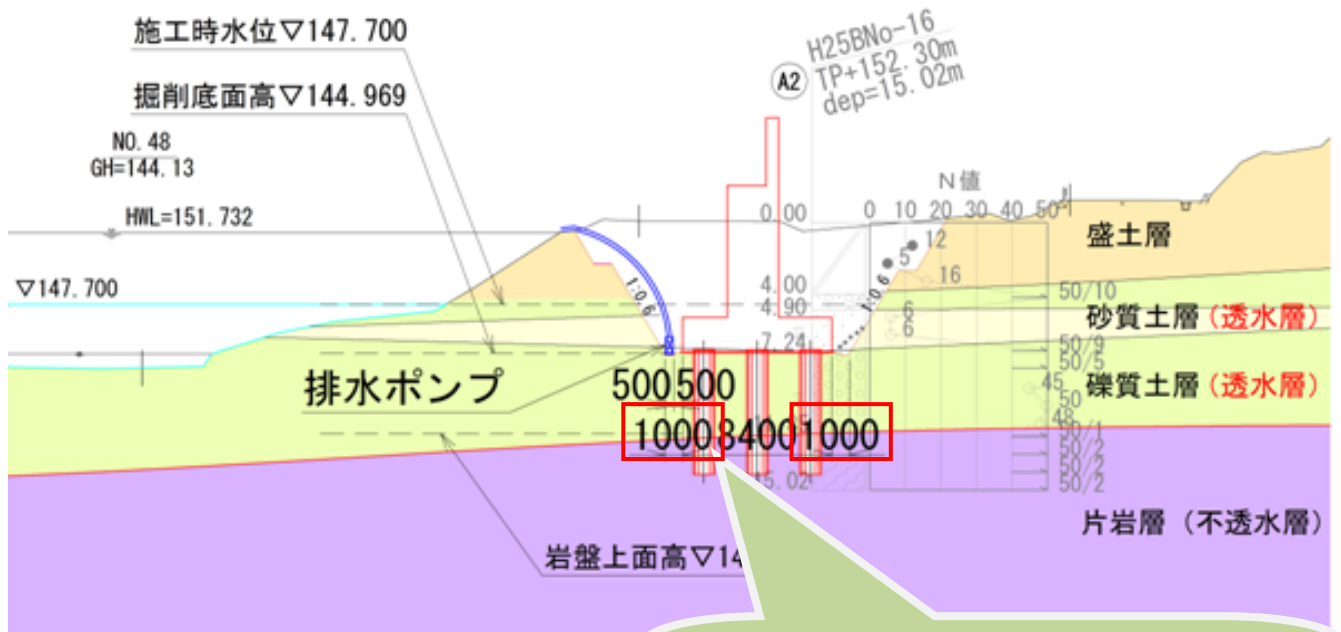
- ① 前回 2 号橋施工時検討会結果を踏まえ、鋼矢板の堅固な岩盤への設置について「周地盤切り下げオープン掘削＋自立式鋼矢板案」にて計画し了承を得られた。（3 号橋）
- ② 橋台施工はオープン掘削で計画したが、砂礫地盤であり、湧水量が比較的多くなることが予測されたため（試算では 8 インチポンプ 5 台程度必要）、排水処理を速やかに行うよう釜場排水等のスペースを充分確保した床掘り形状とした。（5 号橋）

【 次頁へ続く 】

【周辺地盤切り下げオープン掘削＋自立式鋼矢板案 概要図（3号橋）】



【橋台オープン掘削時の床掘り形状概要図（5号橋）】



ポンプ設置を考慮し、床掘り余裕幅を1.0mとした。